

経営比較分析表

岡山県 玉野市

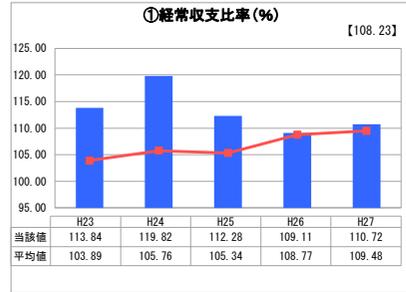
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	46.44	93.01	88.00	3,132

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,945	103.58	598.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
57,371	17.40	3,297.18

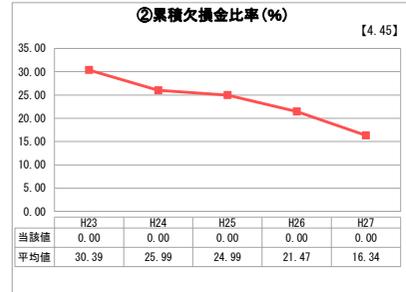
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

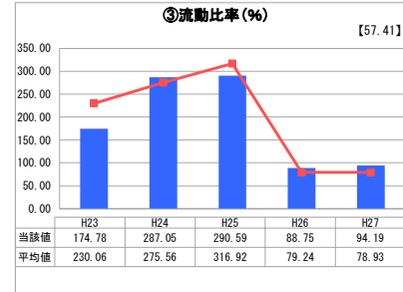
1. 経営の健全性・効率性



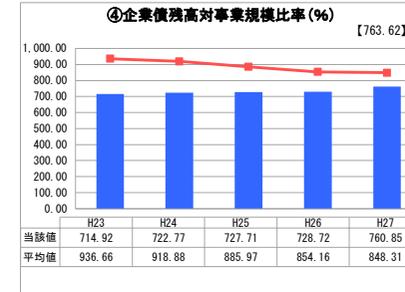
「経常損益」



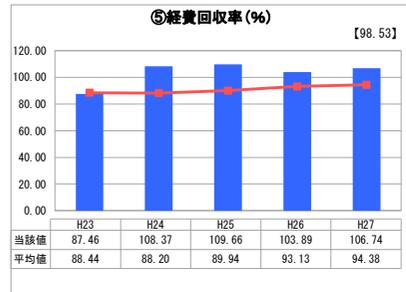
「累積欠損」



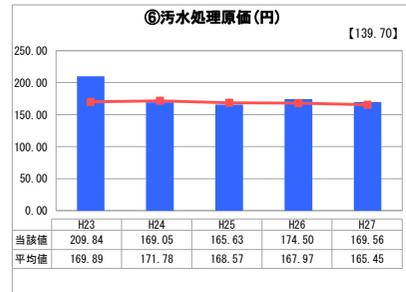
「支払能力」



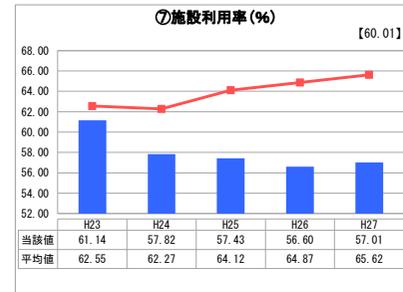
「債務残高」



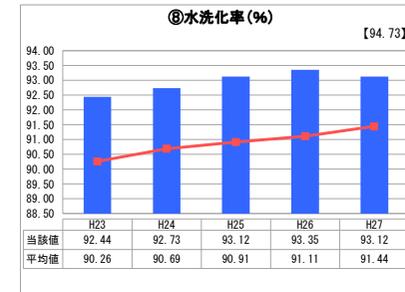
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

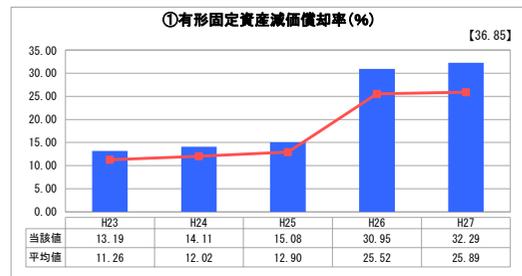


「施設の効率性」

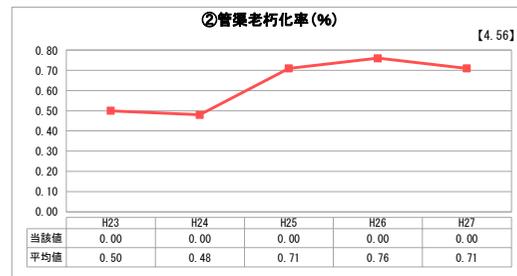


「使用料対象の捕捉」

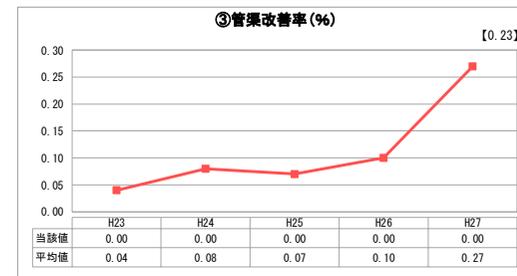
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率について
 収益で費用をどれほど賄えているかを示す指標。
 100%を超えており、事業に必要な収益を確保している。

・流動比率について
 短期的な債務に対する支払能力を示す指標。
 H26年度公会計制度改革により数値が大きく変化しているが、おおむね良好。

・経費回収率について
 使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを示す指標。
 100%を超えており、経費を回収できている。

・汚水処理原価について
 汚水処理に要した費用を表す。
 H23年度は高かったが、H24年度から170円前後で推移しており、平均的である。

・水洗化率について
 93%台を維持しており、平均を大きく上回っている。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率について
 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。
 類似団体平均値と比較すると老朽化は進んでいないものの、今後対応が必要となる。

全体総括

健全な経営を維持していると考えられる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

岡山県 玉野市

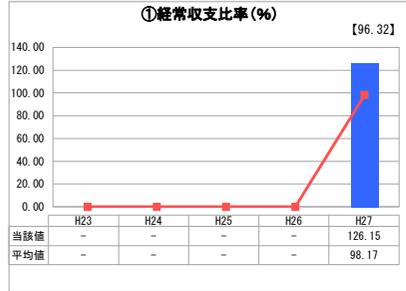
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	28.84	0.02	100.00	3,132

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,945	103.58	598.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15	0.01	1,500.00

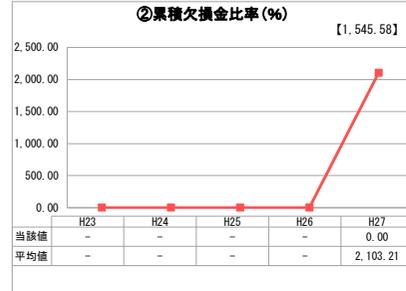
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」



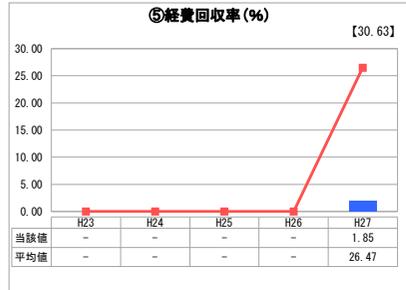
「累積欠損」



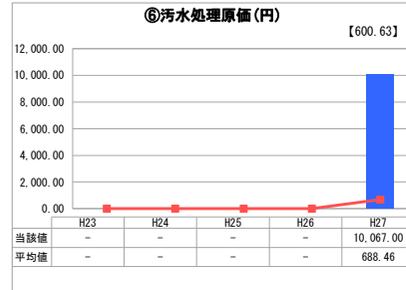
「支払能力」



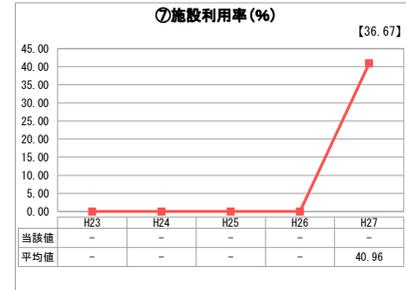
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

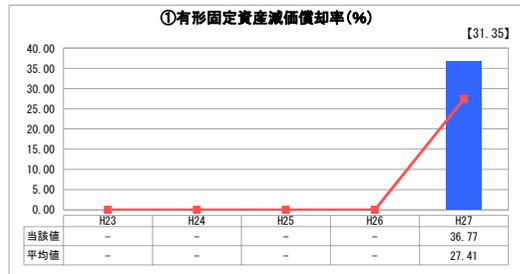


「施設の効率性」

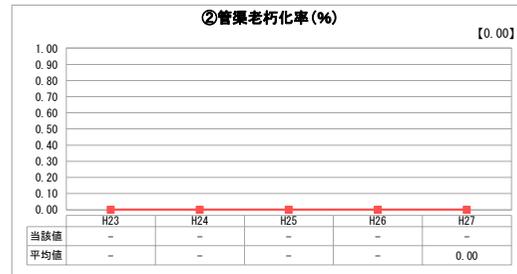


「使用料対象の捕捉」

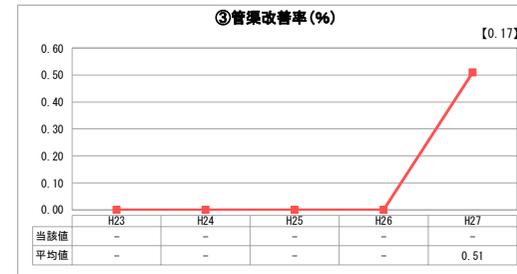
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率について100を超え、良好。
- ・流動比率について100を超え、良好。
- ・企業債残高対事業規模比率について平成14年に事業完了しているため、高い値となっている。
- ・経費回収率について類似団体と比較すると低く、事業に必要な経費を回収できていない。
- ・汚水処理原価について類似団体と比較すると高く、汚水処理コストが高い。
- ・水洗化率93%台をキープしており、高い値となっている。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率について老朽化は進んでいない。

全体総括

著しく事業規模が小さく、経費の料金転嫁は困難であるため、一般会計繰入金を確保し事業運営を行っている。同一会計で運営している公共下水道事業と併せて経営効率化等を考えていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。